

64 徳次郎宿 ~ 大沢宿

栃木県宇都宮市

中徳次郎 ~ 六本木

(歩行距離 2260m 29分)

歩く地図でたどる日光街道

http://nikko-kaiko.jp/

JZE00512@nifty.ne.jp



六本木一里塚の交差点を右に入ると船生街道。日光市塩野地区、塩谷町船生地区(旧船生村)を経由し日光市高徳(会合)国道121号(会津西街道)に合流する道路である。



一里塚の十九夜

一里塚の十九夜  
日光街道をはさみ、六本木の一里塚の西側向かいにある。この石仏は天保11年(1840)の銘が刻まれた如意輪観音。

徳次郎の六本杉



智賀津神社



智賀津神社の大けやき



智賀津(ちかつ)神社  
宝亀9年(778)に日光二荒山神社から御神体を勧請して千勝森(ちかつのもり)に祀ったという歴史ある神社で、徳川將軍家の崇敬社としても寄進を受けていた。境内にある2本のけやきは樹齢700年といわれている。徳次郎3宿の総鎮守。

30 石那田一里塚  
「六本木一里塚」とも呼ばれ、江戸から30里の一里塚。東の塚だけが残り、修復整備されました。塚の上には樹木の代わりに、石の標柱が建てられている。西の塚はないが、並木の外側の畑に塚らしきものがある。『日光道中分間絵図』に描かれている天保11年(1840)と刻まれた十九夜塔の如意輪観音がある。

このあたりに、將軍日光社参の時に小休所となった「安養院」跡がある。

伝法寺  
創建は貞和4年(1348)後醍醐天皇が開基となり大同妙哲が開山したのが始まりと伝えられている。当初は臨済宗だったが江戸時代初期に曹洞宗に改宗した。境内にある妙哲禅師の墓は案内板によると「妙哲禅師は、鎌倉時代に奥州(現・東北地方)に生まれ、雲巖寺(黒羽町)の仏国国師の弟子となり、この伝法寺や妙雲寺(塩原町)・同慶寺(宇都宮市竹下町)を開き、下野国内に臨済宗をひろめた中心人物である。墓碑は高さ1.48mの安山岩製で、八角形の基礎の上に、八角柱の竿石を立て、ここに中台をのせ、その上に卵形の塔身を安置した無縫塔である。墓碑の基礎面に、禅師の功績と貞和5年(1349)11月12日の没年を刻んでいる。」とある。

守勝鍛冶場跡  
守勝は室町時代の刀工であり、二宮尊徳が二宮堰の工事のとき宿泊したといわれる池田家。野州上位の名工広光の門人と伝えられ、徳次郎正宗の別名を今の世にのこしている。野州の古刀期の刀工は少なく、その作品で現存せるものはまれであり、ひとり守勝の作品を見るだけである。守勝の優秀作は県の有形文化財に指定されている。重勝、定勝、勝弘、宗勝、はいづれも同派であり、この地にて鍛刀した刀工である。 織田操撰 昭和五十五年四月吉日 館野照建之

二宮尊徳 宿泊の池田家  
二宮尊徳が二宮堰の工事のとき宿泊したといわれる池田家は、当時のままの姿で残る。

蛇は水神とされるから穀物豊穰をつなぎ、即人間の幸せを祈る絵解きになる。蛇は鼠を食べるので鼠が減り、そのため蚕の天敵が減って養蚕が成功するという意味をもつことにもなった。

絵柄の意味  
猿...日吉山王権現の神猿の意味に、山の神と庚申信仰が加わった。災厄・病魔がサルという縁起をつかった。  
狐...稲荷神社の使いであり、屋敷神でもあった。相向きの一匹が鍵をくわえると、穴の中の財宝を得るという意味になった。  
むか...諸毒の害をのぞくという本来の意味から、お足(おあし=金銭)が多いということと上方商人に信仰されたといわれる。

上徳次郎の町並み  
上徳次郎バス停あたりが上徳次郎宿。右に本陣・脇本陣跡。左に問屋場・脇本陣跡(館野家)があった。

宝木(たからぎ)用水(新川)  
この二宮堰を始まりとして徳次郎、宝木を経て宇都宮の中心部に達しています。二宮尊徳による設計で、二宮尊徳と弟子吉良八郎、村人の協力により安政6年(1859)に完成しました。水神祠があり、「先生御仕法」の文字が刻まれている田川の水位が低いので石によりみずを溜めて取水し、灌漑用水としました。現在、この宝木用水の取水口は親水公園の北側にあります。

絵馬に描かれるもの  
動物...馬、猿、鳥、狐、鶏、むか  
植物...大根、二股大根、菊、牡丹  
人物...誕生、育成、成人、婚姻、乳もらい、神仏...地藏、観音、不動、管公、剣、宝珠、三重塔、天女  
祈願と成就...御幣、鳥居、重ね餅、御神酒、鎌、まゆ玉、誓約...禁酒、さいころ、魔除...鬼、天狗  
商売繁盛...煙草屋、左官、大工、鳶、油しぼり、舟運、旅人講...伊勢講、富士講、戸隠講、榛名講...芸能、行事...神楽、神楽面、豊年踊り、歌舞伎、相撲、史上の人物・物語...歌仙、二十四孝、朱印船、伝説、合戦、実技上達...算額、武芸上達、免許御礼

「毘沙門」の森の中に毘沙門堂あり。毘沙門山が見えた。(日光駅程見聞雑記)

このあたり、本陣・脇本陣跡があった。

絵馬  
庶民の願望や感謝のしるしとして、寺社に奉納される絵馬は、民間信仰の広がりを伝える資料であるばかりでなく、庶民の千恵を知るヒントをふくんでいる。その多くは近世の小絵馬とよばれる種類のもだが、有名な寺社で大絵馬の大作がかがげられた例にもしばしば出会うことができる。稲荷は五穀豊饒と一家繁栄。世継ぎを宿した御札を赤い提灯に、じょうぶに生まれる願いが松の木にあらわされる。菊の模様は願いを聞く、聞き届けてくれるようにとの気持ち。

coffee time

にわとり...小児の夜泣き、かんの虫封じ、火の用心、鶏が餌をつつく光景から連想して、落とし物を拾うとされる。  
蛸...手足のイボ平癒祈願。  
大根...二股大根は夫婦和合の象徴とされる。  
たに...その形状が目を連想させるので、眼病平癒を祈った。  
鎌...おできをそりおとす、風を切って稲を台風からまもる。  
その他の添景...赤提灯があれば大願成就のお礼、鶴・亀・太陽が描かれていれば、おめでたいとする。

酒 日野屋酒店

coffee time